

キリストの中へと接ぎ木されて、命の木の一部となる

聖書：創 2:9. I コリント 6:17. ローマ 11:17, 24. ヨハネ 15:1, 4-5

I. 聖書は啓示していますが、神が人と持つことを願っている関係は、神と人が一となることです——I コリント 6:17：

- A. わたしたちは聖書に来るときはいつでも、一つの原則を適用する必要があります。それは、神が彼の選ばれた民と一になることを願っているという原則です——ヨハネ 14:20。
- B. 神の主要な目的は、彼ご自身を人と一にし、人を彼と一にすることです——エペソ 4:4-6。
- C. 神の願いは、神聖な命と人の命が結合されて一つの命となることです。
- D. 神のエコノミーの中心路線は、神と人、人と神とを、一つの実体にして、両者が一つの命と一つの性質によって一つの生活を持つということです——啓 22:17。
- E. キリストは肉体と成ることにおいて、神を人の中へともたらし、彼の復活において、人を神の中へともたらしめました。このことによって、彼は神と人がミングリングされて一となることを成し遂げました——ローマ 8:3. 1:3-4：
 - 1. わたしたちはキリストの中におり、彼はわたしたちの中にいます。彼とわたしたちは一人のパーソンとなっています——I コリント 12:12。
 - 2. キリストはわたしたちとなっており、わたしたちは彼となっています——ヘブル 2:14, 11。

II. 神が人と持つことを願っている関係は、神と人が共に接ぎ木されて、有機的な結合の中で一となることです——ローマ 6:3-5. ヨハネ 15:4-5：

- A. 接ぎ木された命は交換された命ではなく、人の命と神聖な命とのミングリングです——I コリント 6:17。
- B. 接ぎ木において、二つの似た命は結合されて、共に有機的に成長します——ローマ 11:24：
 - 1. わたしたちの人の命は神のかたちに、神の姿にしたがって造られたので、神聖な命に結合されることが出来ます——創 1:26。
 - 2. わたしたちの人の命は神聖な命と似ています。ですから、神聖な命と人の命は共に接ぎ木され、共に生きることが出来ます。
- C. わたしたちがキリストの中へと接ぎ木されるために、キリストは肉体と成ること、十字架、復活の手順を経過して、命を与える霊と成らなければなりません——ヨハネ 1:14. I コリント 2:2. 15:45。
- D. わたしたちは命の木としてのキリストの中へと接ぎ木されており、この

接ぎ木はわたしたちを彼と一にしました——ローマ 11:24 :

1. キリストと信者たちは一本の木です。彼はぶどうの木であり、わたしたちはその枝です——ヨハネ 15:1, 5 前半, 4 前半。
 2. キリストはわたしたちの命、性質、パースンとなります——コロサイ 3:4, 10-11. エペソ 3:17 前半。
- E. わたしたち再生された者は、キリストの中へと接ぎ木されているので、接ぎ木された命を生きるべきです。両者はこの命の中で結合されて有機的に成長します :
1. わたしたちはキリストの中へと接ぎ木されているので、もはや自分自身によって生きるべきではなく、霊なるキリストにわたしたちの中で生きていただくべきです——ガラテヤ 2:20。
 2. わたしたちはもはや自分の肉や自分の天然の存在によって生きるべきではありません。そうではなく、わたしたちはミングリングされた霊(再生された人の霊とミングリングされている神聖な霊)によって、接ぎ木された命を生きるべきです—— I コリント 6:17. ローマ 8:4。
- F. 接ぎ木された命の中で、人の命は取り除かれるのではなく、神聖な命によって強められ、引き上げられ、豊かにされます——ガラテヤ 2:20. 4:19. エペソ 3:16-17 前半 :
1. 接ぎ木された命の中で、枝はなおも同じ本質的な特徴を保ちますが、さらに高い命の中へと接ぎ木されることによって、強められ、引き上げられ、造り変えられます——ヨハネ 15:4-5. ローマ 11:17。
 2. 接ぎ木された命の中で、神聖な命はわたしたちの中で働いて、消極的な要素を排出します :
 - a. 神聖な命は、徐々に働いて、天然的なものをすべて取り除きます。
 - b. 神聖な命は、わたしたちの欠点や弱さを飲み尽くします。
 - c. わたしたちの性情の消極的な要素は殺され、それから主はわたしたちの性情を投げ捨てるのではなく、それを引き上げ、用います。
 3. 接ぎ木された命の中で、神聖な命は神の当初の創造を復活させ、わたしたちの機能を引き上げます——ヨハネ 11:25. エペソ 4:23 :
 - a. 神聖な命は消極的なものを排出するとき、働いて、神の当初の創造を復活させます。
 - b. このようにして、わたしたちの当初の機能、すなわち創造の時にわたしたちに与えられた機能は、回復され、強められ、引き上げられます——ガラテヤ 2:20。
 4. 接ぎ木された命の中で、神聖な命はキリストの豊富をわたしたちの内側の各部分に供給し、わたしたちの全存在に浸透します——ローマ 12:2. 8:29-30。

Ⅲ. 命の木としてのキリストは、わたしたちの命としての神の具体化です。わたしたちはキリストの中へと接ぎ木されたので、彼と有機的に結合されています。こういうわけで、わたしたちは命の木の一部分です——コロサイ 2:9. ヨハネ 15:1, 4-5 :

- A. わたしたちは、命の木としてのキリストを食べるだけではありません。わたしたちは彼に結合されており、彼の一部分となっています——I コリント 6:17。
- B. 命の木は、神聖な命をわたしたちの中へと分与するためです。わたしたちは枝としてぶどうの木の中に住むとき、命の木から命の分与を受け、命の木の一部分として生きます——ヨハネ 15:5. ローマ 8:2, 10, 6, 11. 参照、ピリピ 4:13。
- C. 命の木としてのキリストは、神聖なエコノミーのためであり、彼ご自身をわたしたちの中へと分与します。わたしたちはぶどうの木の枝として、彼の中に住んでおり、彼はわたしたちの中に住んでいます。
- D. わたしたちがぶどうの木の中に住むとき、神はわたしたちの中へと分与され、命の木から命が枝の中へと分与されます。この分与は、わたしたちを神・人にならせます——ローマ 8:10, 6, 11。
- E. ぶどうの木としてのキリストの中に住むことは、彼をわたしたちの住まいとすることです。これは、神に対する最も高く、最も満ち満ちた経験です。キリストの中に住むことは、キリストの中で生活し、キリストをわたしたちのすべてとすることです——詩 90:1. 91:1, 9。
- F. わたしたちが命の木の一部分として生きるなら、善悪ではなく命に注意を払い、正しいか間違っているかにしたがってではなく、命か死かにしたがって事柄を識別するでしょう——創 2:9, 16-17. II コリント 11:3。